



# 家庭編

# 令和3年度「ごみゼロやまがた県民運動」

→ 本県の「1人1日当たりのごみ排出量（令和元年度）」は922gで、少ない方から全国20位（1位：長野県 816g）です。全国一ごみの少ない県を目指し、1人1日当たり100gのごみを減らすよう、各家庭で取り組みましょう。

約100gは、例えば…

- ・キャベツ(大)の葉2枚
- ・きゅうり1本

など



## おいしく楽しく食べきりで、食品ロス削減！

家庭から毎日1人当たりお茶碗約半分の量が発生しています。食品ロスを減らすには、**食べ物を大切にしたい本来の気持ち**に立ち返ることが大切です。

- 買い物前は、冷蔵庫や食品庫をチェックし、**必要な分だけ購入**しましょう。
- 賞味期限は**おいしく食べることのできる期限**で、期限を過ぎたからといって、すぐに食べられなくなるわけではありません。できる限り有効利用しましょう。  
消費期限は**過ぎたら食べない方がよい期限**で、必要な分だけ購入し期限内に食べきりましょう。
- 残っている食材から優先して使い、残った料理は、**環境にやさしい料理レシピ**に挑戦して無駄なく活用するなど、おいしく残さず食べきりましょう。
- 食品ロス削減等に取り組む「**もったいない山形協力店**」（小売店・スーパー、旅館など）を積極的に利用し、その取組みを応援しましょう。
- 家庭で余った食品は、未利用食品の有効利用を図る**フードバンク活動団体などへ寄付**をすることで有効に活用できます。



山形県「食品ロス」ホームページ

- ・環境にやさしい料理レシピ
- ・もったいない山形協力店
- ・フードバンク活動団体

## プラごみ削減で、美しい河川・海岸を！

- お買い物には**マイバッグ**を持参し、レジ袋の利用を控えましょう。
- 洗剤やシャンプー等は、**詰め替え**できる商品を使いましょう。
- 使い捨てのプラスチック製品（カップ、ストロー等）の利用はできるだけ控え、**水筒やマイボトル**を活用しましょう。



最上川流域の河川ごみ

## 分別徹底で、リサイクル推進！

**Carbon Neutral Challenge**  
～プラごみを減らそう～

- 市町村の**紙ごみ回収**に積極的に協力しましょう。（雑誌・新聞、段ボール、雑紙などの適切な分別で、燃やせるごみが大幅減）
- 買物ついでに、使い終えた牛乳パック、食品トレイ、ペットボトル、古紙などを**スーパー等の店頭回収**に出しましょう。 ※ 店頭回収に出す前に、お店のルール（回収品、注意点等）を確認してください。
- 飲食店のテイクアウト容器は**軽く洗って、分別**して出しましょう。  
※ 分別・回収方法は、市町村によって異なります。
- 町内会や子供会などの**資源回収**を積極的に利用しましょう。
- 生ごみ（水分が約8割）の**水切り**を徹底して水分を減らし、ごみを軽くしましょう。



生ごみの水切りについて

**Carbon Neutral Challenge**  
～環境を守るのは県民一人ひとり～

**ごみゼロやまがた推進県民会議**  
お問い合わせ 山形県環境工ネルギー部循環型社会推進課 TEL 023-630-2322